単Ｐ代表ら活動のヒント探る

佐賀市でリーダー研修会

約150人が参加した市郡連リーダー研修会＝ホテルニューオータニ佐賀

毎年恒例の佐賀県ＰＴＡ連合会「市郡連リーダー研修会」が1月24日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で開かれました。県内の単位ＰＴＡの代表ら約150人が参加し、長崎県ＰＴＡ連合会元会長の山本道雄氏の講演やグループ討議を通して、これからのＰＴＡ活動に対するヒントを探りました。

会の前半では山本氏が「誰のためのＰＴＡ　何のためのＰＴＡ　目指したいＰＴＡの組織と運営」の演題で講演。自身の経験談を交えながらＰＴＡとは何かを説明し、社会教育団体としてのＰＴＡの立ち位置や、ＰＴＡが親の学びの場であることなどを紹介しました。また家庭教育力を向上させる重要性にも触れ、「子育ての第一義的な責任は保護者にある」などと呼び掛けました。

会の後半では4～5人のグループに分かれて、グループ討議を実施しました。各グループを単位ＰＴＡに見立て、目標やテーマを設定。参加者が所属する各単Ｐで行っている取り組みを出し合い、その内容を設定した目標やテーマに照らし合わせて、継続・縮小・廃止のどれに該当するかを話し合いました。

各グループで意見がまとまった後は、いくつかのグループが討議内容を発表。あるグループは「ＮＯ　ＰＴＡ　ＮＯ　ＬＩＦＥ」をテーマに掲げ、「楽しいか、そうでないかを基準に活動の継続・縮小・廃止を選択した」と発表しました。

その後の質疑応答では、ＰＴＡ活動を行う上での悩みや、「先生方とのコミュニケーションの取り方が分からない」などの質問が出され、山本氏は自身の体験談を交えながら、「できるだけ学校に顔を出すことも大事」などとアドバイスしました。

（北島 みゆき）

グループ討議の成果を発表する参加者

長崎県Ｐの山本氏が講演

講演要旨

【演題】
「誰のためのPTA　何のためのPTA　目指したいPTAの組織と運営」

【講師】**山本道雄**氏
（長崎県PTA連合会第36代会長）

保護者が学び、成長できる場

講演した長崎県ＰＴＡ連合会元会長の山本道雄氏

ＰＴＡとは何のための組織なのか。私自身、長く関わる中で、実はそんなに難しい話ではないと感じるようになりました。ＰＴＡは誰かに決められてつくる組織ではなく、自分たちで目的を考え、つくっていける組織です。

ＰＴＡは法律上「社会教育」に位置づけられており、保護者同士が学び合う場でもあります。子育てに正解はなく、多くの方が悩みや不安を感じています。家庭教育に細かなルールがないのも、それぞれの家庭の考え方を大切にするためです。だからこそ一人で抱え込まず、気軽に話し、悩みを共有できる場所が必要です。それがＰＴＡだと思います。

活動自体も「今までずっとやっていたから」ではなく、「この活動は目的に合っているか、保護者の学びになっているか」という視点で考え選択していけばいいと思います。

ＰＴＡは子供のためだけではなく、保護者自身が学び成長できる場であると考えます。

（採録・針尾 篤）

リーダー研修会に参加して

未来を見据えたＰＴＡに

唐津第一中ＰＴＡ　**古藤 悟**さん

ＰＴＡの役員を引き受けて今年で9年となり、最近では毎年同じ活動をしている事への疑問を感じていました。グループ討議では、参加者それぞれの単Ｐの活動を書き出し、その活動が必要か必要でないかを意見を出しあって決めました。こういう作業が、組織づくりにとって大変重要なことだと再認識させられました。

保護者にとって負担に感じるＰＴＡ活動ではなく、保護者が楽しみながら子供たちの為に活動できるようなＰＴＡになれるよう役員一同で話し合っていきたいと思います。県Ｐの馬場会長の新年の挨拶にもあったように、今の時代に合わせ、そしてその先の未来を見据えることが大切です。子供たちの為にも変革の年になればと思います。

何でも相談できる存在に

三根東小ＰＴＡ　**中山 一重**さん

ＰＴＡとは、親同士（先生も含め）が何でも話せ、悩みや解決策を共に考えられる場所であってほしいという言葉が印象に残りました。

昔と比べ、現在は共働き世帯が増え、地域や親同士、先生との関わりが希薄になっています。自分のことで手一杯で、子供のことが心配でも相談できる場所がない家庭も多いのではないでしょうか。そんな時、ＰＴＡが何でも相談できる身近な存在になれば心強いと思いました。そのためには、まずＰＴＡ役員が楽しいと思える目標を設定し、楽しい企画を吟味していくことが大切だと感じました。

親が楽しめば子も楽しい、そんな好循環が生まれるＰＴＡができれば、学校全体が楽しくなると思いました。

佐賀県PTA新聞

発行所
佐賀市南佐賀3-11-15
佐賀県立佐賀東高等学校内
佐賀県ＰＴＡ連合会
☎0952(26)2276

発行責任者
会長　馬場 將嘉

佐賀県PTA連合会ホームページ
http://www.saga-pta.jp/

37年の信頼と実績
maruta 丸田塾
生徒一人ひとりに寄りそった指導をします。

小2～高3
目標に応じた各コース
全教科指導
部活や習い事との両立もできます
英検・漢検・数検
の受験もできます
自分に合う塾を見つけよう！
5日間のお試し通塾　春期講習　新小2～新中3
お問い合わせはホームページよりお願いします
◆兵庫本部教室　◆佐賀駅前教室
◆城北教室　◆大和教室
◆新栄教室　◆鳥栖教室
◆小城三日月教室
丸田塾HP

聞かせて！あなたのライフプラン

春は新生活が始まる季節であり、新たなチャレンジを始めるにも最適な時期です。佐賀県内でも多くの子供たちがそれぞれの目標を定め、そこに向かって第一歩を踏み出そうとしています。小学校を卒業して中学校での新生活がスタートする小学６年生と、高校受験という目標に向けて最後の１年に挑む中学２年生に、それぞれが思い描く「ライフプラン」を聞いてみました。

柔道経験生かして介護士に

芦刈観瀾校中学部2年　**北島 弘翔**さん

僕は今、柔道を頑張っています。中学3年最後の中体連で全国大会に出場し、高校でも全国大会で活躍するため、日々の練習を頑張っています。将来は柔道をしてきた経験を生かし、父と同じ介護士として働いて、みんなから頼られる人になりたいです。

わたしのライフプラン

- 15歳　柔道で全国大会に出場する
- 17歳　柔道でインターハイに出場する
- 23歳　介護福祉士の資格を取る
- 35歳　マイホームを建てる

笑顔を届けられる助産師に

塩田小6年　**峯﨑 愛依**さん

私の将来の夢は助産師になることです。赤ちゃんが生まれる大切な瞬間を支えられる助産師になりたいです。出産の不安に寄り添い、安心と笑顔を届けられる存在を目指して努力していきたいです。

わたしのライフプラン

- 18歳　4年生看護大学へ入学
- 22歳　看護師国家試験に合格。看護系大学院などで助産師の勉強をする
- 24歳　助産師国家試験に合格
- 25歳　助産師として働く

自分が好きなこと見つけたい

三田川中2年　**中牟田 美希**さん

私の将来の夢はまだはっきりしていませんが、就職は急がず進学したいと考えています。安定した生活を送りながら、自分の時間も大切にできる生き方を目指して、いろいろなことに挑戦し、自分が好きなことを見つけていこうと思います。

わたしのライフプラン

- 15歳　普通高校に入学
- 18歳　国立大学に進学
- 22歳　自分探しの旅に出る

大好きな野球ずっと続けたい

古枝小6年　**中村 明日真**さん

ぼくの将来の夢は、高校教師になることです。ぼくは今、少年野球に入っています。高校野球で甲子園に出場し、その高校の教師となり、監督としても甲子園に出場することが、ぼくの思い描く未来です。大好きな野球にずっと関わっていたいです。

わたしのライフプラン

- 16歳　甲子園に出場
- 18歳　教師を目指し大学進学
- 22歳　高校教師になる
- 30歳　野球部の監督として甲子園出場

地域の笑顔守れる存在に

江北中2年　**小寺 悠太**さん

小学3年から続けているバスケで培った体力と精神力を生かし、人々の助けになる仕事に就きたいです。困難な状況でも諦めずに立ち向かう力は、誰かの役に立つためにあると思います。将来は警察官や消防官のような体を張って地域の安全と笑顔を守れる存在になりたいです。

わたしのライフプラン

- 15歳　バスケで九州制覇し全国大会に出場する
- 18歳　高校でもバスケと勉強を両立し、体育学部がある大学に進学する
- 22歳　自分の力を発揮でき、社会の助けになる仕事に就く
- 32歳　マイホームを持ち、家族と幸せに暮らす

ゲームで子供にワクワクを

三根東小6年　**内山 陽翔**さん

僕の将来の夢は、世界中の子供たちが夢中になるゲームをつくるゲームクリエイターになることです。暗いニュースが多い毎日の中で、子供たちがワクワクしながら楽しみ、友達づくりのきっかけになるようなゲームを生み出したいです。

わたしのライフプラン

- 18歳　ゲームクリエイターになるための大学か専門学校に行く
- 20歳　学校に行きながらゲームをつくってSNSで広める
- 22歳　ゲーム会社に入る
- 30歳　ゲームの会社を立ち上げる

みんながわくわくできる秘密基地

○平日 19 時まで利用可　○安心の完全送迎　○お弁当（有料）の注文可能
○土曜・祝日 18 時まで　○バルーナーズ観戦無料　○畑しごと体験
○おやつ・ジュース無料　○期間限定！水族館、宇宙科学博物館などイベント参加費無料

利用児童募集中!!
お問合せ／080-3222-8900（担当：石江）

ボルダリングやｅスポーツを導入し「できた」という成功体験を積み重ねることで「忍耐強さ」や「自信」につなげていきます。

「ｅスポーツの推進」「お子様の特性に配慮した学習指導」を掲げ、最新鋭のパソコン配備や、「教室」の名にふさわしいプロの学習塾講師による指導を受けることが出来るなど、学びの環境を整えました。

トランポリンなどの運動により、インナーマッスルや筋肉・体幹を鍛え、脳の発達を促し「記憶力」「集中力」「理解力」の向上につなげていきます。

佐賀市呉服元町 2-14　0952-37-7678
中央大通り　ハローワーク　サンテ溝上病院　エスプラッツ　十八親和銀行 佐賀中央支店

佐賀市巨勢町牛島 730 モラージュさが北館 2 階　080-3222-8900
見学・体験大歓迎！
お気軽にお問い合わせください
MINNANO.HOUKAGO

佐賀市本庄町袋 301-1　0952-97-8553
すき家　オートバックス　くら寿司　南部バイパス　本庄町袋　スターバックスコーヒー 佐賀南バイパス店

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第29回 西松浦郡 長 浩司 会長

ちょう・こうじ

福岡県出身。4人兄妹の父。長男が小学生の時よりPTA活動を始め、14年間携わってきた。ソフトテニス歴は35年。ビールが大好きで「毎日体内からアルコール消毒してます」と笑う。オヤジギャグにも定評があり、西松浦郡Pの仲間からあきれられながらも愛される会長。60歳。

今しかできない貴重な体験

◆PTAに関わったきっかけと入った後の感想は？

元々県外に住んでいましたが、長男が生まれてまもなく有田町へ移住しました。知人や友人がいなかったので、人との繋がりを目的に参加しました。

毎年の会長決めは本当に大変だと感じました。活動に参加してもらいやすいように名称や活動内容の見直しに取り組んできました。14年も関わっていると多くの人と繋がることができ、気付くとさまざまな場面で助けてもらっていて、やっていて本当に良かったと思います。

◆西松浦郡のいいところ教えてください。

西松浦郡有田町といえば「有田焼」のイメージが強いですが、農業も盛んで黒髪山をはじめとして緑が多い町です。自然豊かでのびのびと過ごすことができ、子供同士の仲も良いです。

町内に小学校4校、中学校2校と少ないですが、その分単P同士の繋がりは強く、協力して楽しく活動しています。

◆西松浦郡の課題はありますか？

少子化は避けて通れず、町内でも子供の数が減少しています。学校統合の話もありますが、各地区の実情や思い、価値観をどのように反映するかが大切だと思います。また統合の主役は子供たちなので、さまざまな変化に対応できる体制づくりや関係性の構築は今後の課題です。

◆次世代の役員さんへのアドバイスを。

PTA活動は我が子が子供の時にしかできません。終わりが近づくと寂しくなりますが、今しかできない貴重な体験だと思います。さまざまな価値観に出会い発見があるのが大きな醍醐味です。保護者自身が楽しく参加してもらえたらと思います。

（聞き手・光武 白水）

退職校長会、県P、高P連が懇談会

今後の連携など意見交換

佐賀県PTA連合会と佐賀県退職校長会、佐賀県高等学校PTA連合会の3団体による教育懇談会が1月15日、小城高校で開かれました。3団体から約20人が参加し、同校が取り組む不登校生徒の居場所づくり対策を学んだほか、それぞれの活動について情報交換し、県教育界の在り方や今後の連携などについて意見を交わしました。

会では小城高校の吉永三貴子教諭が、同校が実施している「不登校等の生徒の居場所づくり対策の先進的な取組」を紹介。教諭主導ではなく生徒が自発的・主体的に活動できる体制を整えていることや、別室（チャージングルーム）での支援体制を説明しました。

また、多様性を認め合い、みんなが心地よく過ごせる小城高校を目指す「おぎすたいる」や、それを実現するために中心となる「おぎすたいるリーダー」の活動を紹介。チャージングルームの様子や、おぎすたいるの一環で基山町の障害者施設「PICFA」と一緒に制作した壁画を見学しました。

お互いの活動報告では、退職校長会が「夏休み子ども寺子屋」や「現職・退職校長合同研修会」などの活動を挙げたほか、学校などの困り事に対応する人材バンクの取り組みも紹介。県Pは県教委との連携・協力会議や県校長会との合同研修会などを説明しました。高P連からは武雄アジア大学とのコラボなどの報告がありました。

またPTA不要論が出ていることについても意見交換。「何をやっているか知ってもらう必要がある」「活動の幅を広げ、新たな学校支援の形を」などの意見が出され、さらなる連携の必要性を確認しました。

（瀬戸 健太郎）

不登校生徒への対応などを話す吉永三貴子教諭

おぎすたいるの一環で作成した壁画を見学する参加者

編集後記

今年度も無事に佐賀県PTA新聞を発行することができました。読者の皆さま、編集会議へ出席し、取材や記事作成をしていただいた編集委員の皆さま、それに関わる全ての方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

5月、「今年度は当校が当番ですので、広報部より1名選出してください」と連絡があり、私が編集委員を引き受けることになりました。市内14校ありますので、14年に1度の当たり年（？）です。不安が10割のまま、編集会議へ出席しました。ですが、委員の皆さまや県P事務局の方々のご協力により、とても貴重な経験をすることができました。

今年度より県PTA新聞の発行が年4回となりました。以前よりも少なくはなりましたが、その分充実した記事を載せるように、また、SNS等も利用しながら、皆さまの身近なPTAになりますよう努めてまいります。来年度以降も変わらぬご愛読をよろしくお願いします。

（鳥越 歩美）

子育て・親育ち うちの家訓

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。

古舘家の家訓

二つの家訓で自立心と信頼

古舘 祐輔（東唐津小ＰＴＡ）

こんにちは！　賑やかさなら負けません、古舘家です。わが家には中学1年を筆頭に小学5年、小学3年、小学1年、そして0歳の赤ちゃんという5人の子供たちがいます。

古舘家の家訓の”その1“は「お手伝い分給制」です。働くことの対価や限りあるお金の管理を実地で学ばせ、子供たちの自立心を育んでいます。そして家訓の”その2“は「うそやごまかしをしない」ことです。失敗を隠さず正直に話すことで、何があっても助け合える深い家族の信頼を築いています。

トークと笑いの絶えない古舘家はこの二つの家訓で、たくましく正直な子供たちを育てています！

井上家の家訓

誰かの為になることを考える

井上 達朗（鍋島中ＰＴＡ）

我が家に家訓と言えるほどのものはありませんが、心得のようなものとして「次の人の役に立つことをする」というものがあります。

「スリッパをそろえる」でもいいし、「器具などを使いやすいように並べる」でもいいのです。次の誰かがスムーズに事を進めることができるように配慮しようと伝えています。先の行動を考えて配慮するということは、社会に出て仕事をする上でも大変役立ちますし、全体を見るために視野も広がります。

誰かの為にすることは必ず自分の為にもなります。子供たちはもちろんですが、まずは今後も私自身が常に自覚して率先して動くようにしていきたいと思います。

わたしの推し歌 4 Memorable Songs

未来へ

Kiroro（1998年）

卒業の思い、分かち合っておけば

昨年3月、多久市立東原庠舎中央校9年生の卒業式が執り行われました。私も来賓として参列させていただき、二十数年前の自身の卒業式に思いを重ねていました。

中央校の式では卒業生が「旅立ちの日に」を歌います。9年間の沢山の思い出が頭を駆け巡ったのでしょう、歌を歌いながら涙を流す卒業生たちの姿が見られました。

その様子を見ながら、自分の卒業式では、卒業証書をもらった後に教室へ戻り、クラスのみんなとｋｉｒｏｒｏの「未来へ」を歌ったことを思い出しました。歌いながら涙する同級生を見て私は「人前で泣くことが恥ずかしい…」という思いがこみ上げ、涙をこらえて強がって、平静を装いながら卒業しました。

素直に涙を流す9年生を見て「ああ、私も素直に涙を流し、淋しさやこれからの未来への期待と不安を友ともっと分かち合っておけば良かったなぁ…」とちょっと後悔しました。

（東原庠舎中央校ＰＴＡ　宮中 あゆみ）

いいね！ 単位ＰＴＡ通信

負担減らしつつ、子供を支援

芦刈観瀾校ＰＴＡ会長　森永 勉

ＰＴＡと聞くと「大変そう」や「面倒くさい」などマイナスなイメージを持たれている事が多く、役員のなり手がいないのが現状だが、一昨年より活動の見直しを行い、保護者や先生方の負担を減らしつつ、子供たちを最大限にサポートできるよう改革を進めてきた。

まずＰＴＡの名称を親しみやすい印象を持てるように「Ｐ－ＳＭＩＬＥ」に変更した。また我が校は人数が少なく、1学年1クラスがほとんど。学年役員を複数人置くと中学生までの9年間で2回やらなければならないなどの問題が出るため、学年役員を1名とする規約改定を行い、保護者の自主性を保ち、サポートする環境を整えた。

一方、役員活動の削減だけだと子供たちの楽しみがなくなってしまうため、有志で「学校宝探し」のイベントをフリー参観日の放課後に開催した。ルールはいたって簡単で、限られた範囲内に隠されたお宝（カード）を探すだけ。カードを見つけたら用意していたお宝（お菓子）と引き替える仕組みだが、小学生から中学生のほとんどの子供たちが参加してくれ、大盛況で終えることができた。このゲームには「Ｐレンジャー」も登場し、イベントを盛り上げるために活躍してくれた。

小・中学生総合保障制度ご案内［こども総合保険］

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

賠償補償
お友達にケガをさせる
自転車事故

身体の補償
通学中のケガ
日常生活中のケガ

育英費用補償
扶養者が事故で重度の後遺障害

補償内容について3分間の動画にまとめました
どのような補償があるか、ご確認ください

スマホで簡単手続き！お申込みはコチラ

■制度に関するお問合せ先（取扱代理店）
株式会社コーリン（佐賀県PTA連合会 保障制度事務局）0120-228-553 受付時間／平日 午前9:00～午後5:00
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F　https://www.pta-corin.com/

■引受保険会社（幹事会社）AIG損保（非幹事会社）東京海上日動，損保ジャパン，CHUBB
○この広告は「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。
90-0014（2026-04）